

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b>30</b>

事業所番号	3972400331
法人名	有限会社 エフヴェール
事業所名	グループホーム エフヴェール
訪問調査日	平成 20 年 3 月 21 日
評価確定日	平成 20 年 7 月 17 日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

**○項目番号について**  
 外部評価は30項目です。  
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。  
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。  
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

**○記入方法**  
 [取り組みの事実]  
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。  
 [取り組みを期待したい項目]  
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。  
 [取り組みを期待したい内容]  
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

**○用語の説明**  
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
 家族 = 家族に限定しています。  
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。  
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。  
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	3972400331		
法人名	有限会社 エフヴェール		
事業所名	グループホーム エフヴェール		
所在地 (電話番号)	吾川郡いの町天王北4丁目8-7 (電話)088-891-6075		
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成20年3月21日	評価確定日	平成20年7月17日

## 【情報提供票より】(平成20年3月10日事業所記入)

## (1)組織概要

開設年月日	平成 16年 6月 20日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9人
職員数	10人	常勤 3人, 非常勤 7人, 常勤換算 4.7人	

## (2)建物概要

建物形態	併設 <b>単独</b>	新築 <b>改築</b>
建物構造	軽量鉄骨一部木造 造り	
	2 階建ての	1 階 ~ 2 階部分

## (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000~28,000 円	その他の経費(月額)	12,000 円
敷金	有( 円)	<b>無</b>	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,000 円

## (4)利用者の概要(3月10日現在)

利用者人数	9名	男性	2名	女性	7名
要介護1	1名	要介護2	2名		
要介護3	4名	要介護4	1名		
要介護5	名	要支援2	1名		
年齢	平均 83歳	最低 76歳	最高 92歳		

## (5)協力医療機関

協力医療機関名	天王診療所、仁淀病院、愛宕病院、安光歯科、
---------	-----------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

山に囲まれた閑静な住宅団地の中にあるホームで、近隣にスーパーや公園があり、利用者の散歩や買い物など生活の継続支援がしやすく、また、コミュニティセンターの活用などで地域との連携も取りやすい、環境に恵まれたホームである。民家改造型で、やや手狭な感じはあるが、利用者にとって家庭的で懐かしい雰囲気となっている。今後、「自分や自分の家族がしてほしいサービスの提供」という運営者の思いと、管理者はじめ職員の専門職としてのケアの連携により、地域に根ざしたホームとして発展することが期待できるホームである。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	「職員研修」や「入居者間のトラブルの解消」などは改善されているが、「専門的観点からの栄養チェック」や「ホーム機能の地域への還元」などについては、取り組みの継続が望まれる。
①	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 職員の意見を聞き、自己評価に職員全員で取り組んでおり、改善計画も立てている。今後、改善シートに計画のプロセスを記録し、課題の改善に取り組むことを期待したい。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 家族が順番に参加するなど、運営推進会議の活発化を図る努力をしている。ホームの事業報告が主な内容であるが、家族からの要望も出され、消防訓練のあり方などについての話し合いもしている。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族が来訪しやすい雰囲気であり、相談や苦情への対応もできている。ただ、苦情の対応記録がメモ書きであるので、苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをするためにも、記録の統一化など工夫され、更に充実した内容となることを期待したい。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会に加入し、町内の行事や清掃活動に積極的に参加している。また、コミュニティセンターの体操や月1回の天王サロンでの茶話会に参加するなど、地域との交流も積極的に行っている。過去には一度、地域の方を招きホームで茶話会を開催したこともあるとのことであり、今後ますます地域との交流を深める為にも、継続的な取り組みを期待したい。

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所独自の理念がある。 家庭的な雰囲気大切にしたいという思いが感じられる独自の理念がある。  <input type="checkbox"/> これまでの理念に加え、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容である。	○	「家庭的な環境と地域住民との交流のもとで」という、介護保険法におけるグループホームの基本方針に基づき、利用者が地域の中で、その人らしく暮らし続けることができるケアを目指した地域密着型の理念作りを期待したい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 月1回の職員会などで話し合っている。  <input type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 理念の実践を心掛けている様子は窺えるが、一人ひとりに合わせて、柔軟に対応しているとは言い難い場面もみられる。	○	対応の難しい利用者を上手にケアしている様子は窺えるが、職員の声のトーンや作業をするときの動き、危険物の取り扱い方など、もう少し理念に基づいた気配りすることを期待したい。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。  <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 老人会との交流、夏祭り、町内の一斉清掃、月3回のコミュニティーセンターでの体操への参加など、地域との交流を積極的に行っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 職員の意見を聞き、全員で自己評価に取り組んでいる。  <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 改善計画シートを作っているが、具体性に欠ける内容があるので、もう少し実行可能な計画を立て、改善のプロセスも分かるような取り組みを期待したい。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。  事業所からの報告が中心になっているが、参加者からの関連する意見を引き出すようにするなど、双方向的な会議になるように配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。		
6	9	○市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。  町主催の研修会に参加したり、担当者に事業所の取り組みを伝えたりして、交流を図る努力をしている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 家族の来訪は多く、訪問しやすく相談しやすい雰囲気づくりをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 定期的に「エフヴェール通信」を発行しているが、個別の便りの充実が望まれる。 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 毎月報告し、家族から確認サインをもらっている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 年2回の行事に合わせて家族会を開催し、意見を出せる仕組みを作っている。 <input type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。  苦情の記録がメモ書きで終わっている。	○	家族から苦情があった場合、どんな些細なことでもきちんと記録に残し、発生要因を探り、対応を検討し、今後のケア向上につなげることが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
	9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。 管理者交替時に2カ月程度の期間を設けるなど、引継ぎ期間は充分取っている。</p>		
5. 人材の育成と支援						
	10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 月1回の職員会で報告している。</p>		
	11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 管理者が年2～3回、他のグループホームと交流をしている。今後、定期的な勉強会に発展することを目指している。</p>		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応						
	12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めている。 生活歴の情報が不十分であるが、情報収集はしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。 見学時に利用者と一緒におやつを食べるなどの体験をしてもらっており、お試し入所もできる体制になっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。 運営者と管理者で面接し、見学時に対応した職員の意見も聞いている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、利用者を支援されるのみの立場にはおいていない。 配膳、下膳、食器洗いなど、その人が出来ることを大切に支援をしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>支援する側、される側という意識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>共有スペースのモップ掛け、洗濯物干し、洗濯物たたみ、花の世話など、利用者 と職員と一緒に作業をする場面作りをしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者から生活の技や生活文化の大事さを教えてもらう場面がある。</p> <p>食事の味付け、調理方法、干し柿の作り方など、以前の職業や生活の中で培った 技や知恵を利用者から教わる場面がある。</p>		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p>センター方式の一部利用によるアセスメントで、一人ひとりの意向の把握に努めている。使用するシートの選択次第で、よりニーズが浮かび上がり易くなるので、検討を期待したい。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p> <p>家族や関係者から情報を得、本人の表情やしぐさからも気持ちを読み取る努力をしている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。</p> <p>家族の来訪時や電話などで意見を聞き、介護計画を作成している。作成した介護計画は家族に見てもらい、確認してもらっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。</p> <p>職員と家族で、3カ月ごとにカンファレンスを行っている。モニタリングは月1回行っている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16	37	○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 介護計画への家族の同意が年に一度しかない。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直しされている。 状態の変化に応じて見直している。 <input checked="" type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人の状態や計画内容に応じた個別の期間設定をしている。  退院時は1カ月の暫定プランを立て、様子を観察し、必要に応じて追加プラン及び見直しをしている。	○	月1回のモニタリング、3か月ごとのカンファレンスをしているので、少なくとも6か月に1回は介護計画の見直しをすることが望まれる。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療処置を受けながら生活が継続ができるように努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 重度化した場合や終末期も事業所でケアを提供している。 家族と話し合い、ケースに応じた対応をする体制ができています。 <input checked="" type="checkbox"/> 特別な外出、通院や送迎、外泊などの支援を行っている。 職員同行での通院支援などを行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。 個別の受診ノートに記録し、情報共有をしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input checked="" type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 見取りの指針があり、必要に応じて話し合える体制ができています。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期を迎えられるように取り組んでいる。  家族の意向を踏まえ、ケースに応じて取り組む体制ができています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。 本人を傷つけるような言葉掛けや対応は見られないが、居室に紙パンツをそのまま置いたり、ポータブルトイレをむき出しで置いたりしている。  <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。  <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。	○	紙パンツやポータブルトイレをむき出しのまま置くのは、利用者の尊厳を守るという意味では不適切であり、戸棚に収納したり、布で目隠しをするなどの工夫が望まれる
21	52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの「その日」にしたいこと(買い物や散歩等)を把握し、それに応じて柔軟に支援している。  <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 急に買い物に行きたいという利用者がいれば、希望に応じて支援するなどしている。		
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切にしている。 利用者の状態に合わせて、野菜の皮むき、配膳、下膳などを一緒にしている。  <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 介助の必要な利用者をさりげなくサポートしながら、同じ食卓で同じものを一緒に食べており、家庭的で和やかな雰囲気作りをしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 2人介助が必要な利用者に対して、パート勤務者を配置し4人体制で対応するなど、利用者に合わせた入浴支援が行われている。また、夜間入浴希望の利用者にも、見守り介護で対応している。  <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせて入浴支援を行っている。 入浴を拒否する利用者には、時間をずらしたり、ことば掛けや誘い方を工夫して、チームプレーで柔軟な支援を行っている。		



外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握している。 縫い物が好きな人に雑巾縫いやバスタオルの縁かがりをしてもらったり、歌の好きな人が歌っていると、踊りの名取りの人が自然と手振りをして合わせたりするなど、役割や楽しみごとが把握され、日常化している。  <input checked="" type="checkbox"/> 食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 洗濯や調理の時に、以前の職業や生活の中で培った技や知恵を発揮できる場面作りをしている。  <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。 月1回絵手紙を習ったり、職員と一緒にプランターで花を育てたりと、働きかけを行っている。		
25	61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。  <input type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 建物がバリアフリーではないので、車椅子利用者が気軽に戸外へ出られる状況ではない。  <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 近くの公園に日常的に散歩に行ったり、月に1回の外食を楽しんだり、季節の花見やドライブに出かけたりしている。	○	車椅子利用者も、リハビリ次第で歩行の可能性があり、また、本人の意欲向上に繋げるためにも、職員配置に工夫するなどして、散歩に取り組まれることを期待したい。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。  <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 職員は習慣や傾向を把握しており、事前に察知して、散歩に誘うなどの対応をしている。  <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。 消防署に依頼して避難訓練は実施しているが、地域住民の協力を得たものにはなっていない。 <input type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 非常用食料、備品の備蓄が万全ではない。	○	住宅地の中のホームであり、非常時に備え近隣住民の協力を得て避難訓練を実施することと、水、食料及び備品を十分確保することが望まれる。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 食事量のチェック表はあるが、水分チェック表はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 利用者の好みを把握しており、季節の食材を使った、高齢者に馴染みのある献立を作っている。 <input type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。	○	1日の水分摂取量には気配りしているとのことだが、チェック表をつけることにより、的確に水分摂取量を把握することが出来るので、是非取り組むことを期待する。また、栄養バランスを保つ為にも、栄養士や保健師などの定期的なチェックも期待したい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 一般家庭で使用している馴染みのある家具などが配置されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。 家庭的で、大人の雰囲気のある飾り付けになっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 季節を感じる草花が活けられ、雛飾りなど季節の行事の飾り付けも行われている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置おくなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫されている。 使い慣れた家具や仏壇など、利用者にとってそこが生活の場であることが判る居室作りになっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組まれている。		